

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和2年6月2日（火）
- 2 確認箇所
サブドレン他浄化装置
- 3 確認項目
サブドレン他浄化装置前処理フィルタ2Bからの漏えいの対応状況
- 4 確認結果の概要
5月22日に発生したサブドレン他浄化装置B系統の前処理フィルタ2Bからの漏えい[※]の対応状況を確認した。
 - ・現場確認時には、東京電力社員と作業員が、保温材が取り外された前処理フィルタ2Bにろ過水を張り、漏えい調査を行っていた。（写真1）
 - ・東京電力社員によると、前処理フィルタ2Bの下部から水の滴下が確認されているが、現段階では、漏えい箇所の特定には至っていないとのことであった。

※ 5月22日17時5分頃、サブドレン他浄化装置前処理フィルタ2Bの保温材下部から、通常より多い滴下水（1秒に1滴）、堰内の受け皿に滴下していることを東京電力社員が発見した。滴下した水のサーベイ結果はバックグラウンドと同等であったものの、放射能分析の結果（セシウム134:7.2Bq/L セシウム137:97Bq/L）は系統水中のセシウム137の濃度（約100Bq/L）と同等であることから、系統水が漏えいした可能性が高いと推測され、今後、原因調査を行い必要な対策を講じることになっていた。

なお、当該フィルタは、同日中に隔離、水抜きが実施され、滴下は停止した。また、サブドレン他浄化装置はA系統に切り替えられて運転が再開された。

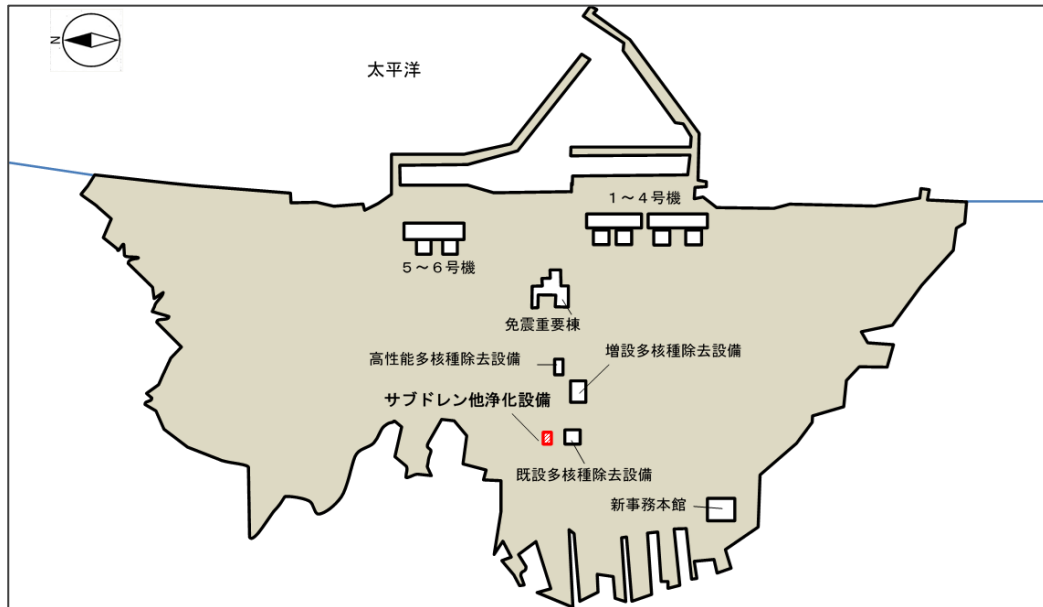


図1 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
漏えい調査の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。